

# 中国の環境教育政策

## ～ 持続可能な開発のための教育事例研究 ～

亀村 佳都

キーワード：環境教育、持続可能な開発のための教育、環境ガバナンス、  
持続可能な開発のための教育の 10 年

### 1. 論文の目的

環境ガバナンスとは、あらゆるアクターが参加し、環境問題についてどのように管理するかをめぐる合意形成プロセスをさす。近年、中国の環境ガバナンスにおいて教育の役割と価値が高まってきた。それは人口増加、経済成長、消費拡大などの要因が環境への圧力となり、問題解決のため、教育を通じた人々の環境意識の向上、問題解決能力の育成が重要な課題となっているからである。以上のことから、本論文は、中国における学校環境教育の動向と特徴について考察し、環境ガバナンスにおける教育の役割について若干の考察を与えることを目的としている。

### 2. 中国における環境教育の背景

中国の環境教育は、国内の環境保護政策と国際的な環境教育政策の影響を受けているものと考えられる。現在、環境教育は持続可能な開発のための教育の一部を構成している。90年代半ばから、政府、国際機関、国際 NGO、外資系企業、環境 NGO などが学校環境教育事業を展開するようになった。これらのアクターと学校、家族、地域が共同で環境教育活動を計画し、地域の環境問題解決のために実施することは、環境ガバナンスへの参加に結びついている。

### 3. 学校環境教育における事例研究

各アクターがどのように環境教育を行っているのかを探るため、まず、初等・中等教育における教師と中学生を対象にアンケート調査を行った。調査結果から導き出される課題は、第一に、環境問題に関する学習内容が必ずしも行動に結びついていないため、より実践活動を重視した環境教育を行い、学生の問題解決能力を育む必要性があることである。第二に、教師が持続可能な開発の理念を理解し、学生が主体的に環境教育に取り組めるような教授法を身につけるために教師研修を充実させることである。

次に、行政、国際機関、NGO を対象にインタビューを行い、それらの学校環境教育事業を比較検討した。その結果、主に二つの点が明らかになった。第一に、各環境教育活動は、持続可能な開発と学生の主体的な学習に対する理念を教育活動に反映している。第二に、学生、家族や地域住民が環境教育活動を共にを行い、地域に存在する環境問題解決のために行動する能力と責任感を育む機会を提供している。

### 4. 持続可能な社会形成に向けた環境教育の役割

環境教育の役割は、持続可能な社会の形成に至るような、つまり地球の生態系が持続する範囲内で人間のニーズを満たせるような社会形成のために必要な知識や技術、態度、行動力を育み、意識や価値観の転換を促すことである。中国の環境教育政策において、学生、家族、地域住民が責任を持って環境管理を行う能力を向上させるために学校教育の果たすべき役割は大きい。なぜなら、学校環境教育に彼らが積極的に参加することにより、環境ガバナンスへの参加に求められる能力を育むことができるからである。つまり、環境教育は環境ガバナンスの発展に寄与し、持続可能な社会形成を導くのである。